

8-1

積極的に聴こう

プレゼンテーションは、聴き手にとっての学びの場でもあります。学びを深めるためには、聴き手が**受け身になることなく、積極的に聴く**ことが重要です。積極的に聴くことは、よい質問をすることにもつながります。

一言で「聴く」といっても、いくつかのレベルに分けることができます。より高いレベルを目指して、聴く力を養いましょう。

➤ 『8-2. よい質問をしよう』参照

[レベル1] 能動的に聴く

高い参加意識をもち、「発表者が伝えたいこと」を理解することが目標です。

● 発表者の方を向いて集中する

大事なポイントを聞き逃さないように集中しましょう。また、「関心を持って聴いています」という姿勢を示すことで、発表しやすい雰囲気作りに協力しましょう。

● 動作で意思表示をする

納得できた時にはうなずくなど、動作を通して発表者にメッセージを発信しましょう。

● メモを取る

重要だと思う点、疑問に思う点は、必ずノートにメモを取りながら聴きましょう。配布資料がある場合には、資料にアンダーラインを引いたり、思いついた点をメモしてもよいでしょう。

[レベル2] 批判的に聴く

プレゼンテーションの展開と主張が、論理的であるか、説得力があるかを判断することが目標です。

※ ここでの「批判的」とは、先入観や自分の意見に左右されることなく、客観的に判断を行う姿勢を意味します。

● 全体の構成をチェックする（以下の2点を確認しましょう）

- ① 序論で示された問題意識や目的と、結論が対応しているか
- ② 本論は、結論につながる内容・展開になっているか

● 主張と根拠を吟味する（以下の3点を確認しましょう）

- ① 主張の根拠は明確に示されているか
- ② その根拠は信頼できるものか（出典が明記されているか、信頼できる方法で得られたデータか、など）
- ③ その根拠によって、発表者の主張は十分に支えられているか（「たった1つの根拠によって大げさな主張をしている」、「主張とのつながりが不明確なデータを根拠としてあげている」といったケースは、論理性や説得力を欠くプレゼンテーションと言えるでしょう）

[レベル3] 発展的に聴く（プレゼンテーションをもとに考察する）

プレゼンテーションで聴いた内容と、自分の知識・経験とを照らし合わせて、別の例はないか、新しいアイデアは考えられないかなど、頭を働かせてみましょう。質疑応答の場面でそれらを共有できれば、プレゼンテーションの場をより実り多きものにすることができます。